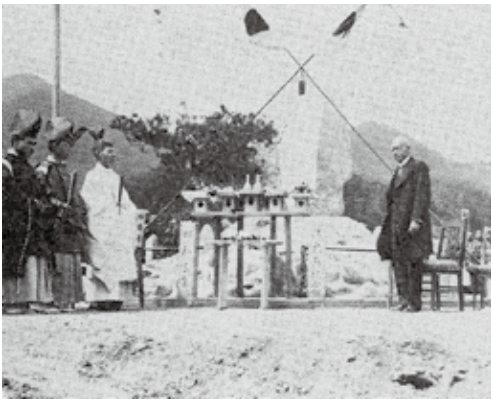


支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを毎月お知らせするコーナーです。今月は丹原総合支所から「丹原町に今も伝わる心温まるエピソード」を紹介します。



▲常石山での得能道綱の忠魂碑除幕式（右の起立している人物が秋山好古元陸軍大将）

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地 1

TEL0898-68-7300

FAX0898-68-4769

激動の時代を駆け抜けた偉人たちが残した

丹原に今も伝わる心温まるエピソード

愛媛県を代表する歴史上の人物である秋山好古・真之兄弟、そして正岡子規らが活躍するテレビドラマ「坂の上の雲」第一部が、昨年末に放映されました。司馬遼太郎原作の人気長編小説の初の映像化、また郷土出身者がモデルとあって県民の関心も高く、今後の展開も大いに注目されています。
維新を経て近代国家の仲間入りをした「明治日本」。そんな激動の時代を駆け抜けた偉人たちが、丹原町に残した心温まるエピソードを、今月はご紹介します。

常石山の忠魂碑と秋山好古大将

丹原町徳能の常石山（南朝の忠臣・得能道綱の居城）の上に、昭和天皇の御大典（昭和3年）記念事業の一つとして、昭和5年4月4日に除幕された得能道綱の忠魂碑があります。小学校の綱引きの綱を石碑に巻きつけコロを敷いて、徳能地区の老若男女が総出で頂上まで引き上げたものです。その除幕式は、松山から秋山好古元陸軍大将を迎え、盛大に挙行されました。石碑表面の「贈正四位得能道綱忠魂碑」は、秋山元大将の筆に



▲得能道綱忠魂碑の残る常石山

よるものです。除幕式世話人の一人であった渡部氏によると、当時、軍を退官し北豫中学校長の要職にあった秋山先生を、ぜひ招待したいとの地元の人たちの強い希望から、式典の期日は新学期を待って4月4日と決定されました。

当日は天気晴朗、秋山先生は騎兵隊出身とあって、地元黒河氏の持ち馬に颯爽と乗馬し登山しましたが、途中、馬が疲れるからと下馬して歩かれました。また、徳田小学校では記念の剣道大会が開催され、秋山先生も彫りの深い顔に満面の笑みをたたえて観覧されていたとのことでした。

格三里の乃木将軍

時代はさかのぼって明治31年、乃木希典将軍が四国各県の連隊検閲のため、松山道（桜三里）を進み松山連隊に向かった時のことです。道中の来見の稲葉屋（現越智敏雄氏宅）に宿泊した夜、将軍をはじめ副官以下の将兵は遅くまで痛飲談話したそうです。翌日、白坂笹ヶ峠より千原に進んだのですが、前夜のこともあり、従卒は乗馬でこの坂道を通っていて、将軍がもし落馬でもされては明日の



▲乃木将軍の一行が宿泊した旧稲葉屋

検閲に差し支えると心配しました。そこで、何と言えども馬から下りてもらえるかと思案の末、馬丁が「閣下、この悪路では馬がかわいそうでございます。どうかよろしくお願います」と言うと、馬を愛する将軍は「わしがうっかりしていた」と、すぐに下馬して歩き始めました。その後、しばらくして千羽嶽を見た将軍は、「よい詩ができた」と副官に鉛筆で漢詩を書かせましたが、宿に着いてそのノートを取り出したら、汗と雨で字が分からなくなっていたということでした。

【参考文献】 丹原町誌・文集「つねいし」・丹原史談会第4回ふるさと探訪